

平成20年度岩手県立博物館教育普及事業  
郷土の自然のおいたちを探るシリーズ第56回  
地質観察会

## 瀬美温泉付近の地層の解説

—海の進入や火山の活動—

### 実施要項

#### 1 目的

博物館の展示資料を見る段階から一步進めて、参加者が実際に地層の観察などを行うことにより、郷土の自然のしくみとそのおいたちを理解し、自然に対する興味と関心を深める。

#### 2 主催 岩手県立博物館・岩手県立博物館友の会

#### 3 後援 岩手県地学教育研究会

#### 4 日時 平成20年10月5日(日) 10:00~15:00 小雨決行

#### 5 開催場所 北上市和賀町岩崎新田 瀬美温泉周辺の夏油川流域

#### 6 時程

- 9:45~10:00 瀬美温泉前駐車場集合, 受付・参加確認
- 10:00~10:15 開会行事(主催者挨拶, 観察ルートの説明等)
- 10:15~10:20 瀬美温泉対岸露頭へ移動(徒歩)
- 10:20~11:45 瀬美温泉対岸露頭で, 竜の口層の堆積構造の観察と貝化石の採集
- 11:45~12:45 昼食
- 12:45~13:00 夏油川下流域へ移動(徒歩)
- 13:00~14:40 夏油川下流域の地層の観察と亜炭等の採集
- 14:40~14:50 瀬美温泉へ移動(徒歩)
- 14:50~15:00 閉会行事, 解散

※夏油川の水量や天候によっては, 観察場所や内容を変更する場合があります。

- |         |         |        |        |
|---------|---------|--------|--------|
| 7 案内・誘導 | 岩手県立博物館 | 学芸第一課長 | 大石 雅之  |
|         | //      | 学芸第二課長 | 吉田 裕生  |
|         | //      | 解説員    | 高橋 友佳子 |
|         | //      | 解説員    | 内藤 恵   |

#### 8 参加対象および人数

小学校高学年以上の一般, 40名以内。小・中・高校生では保護者の承諾を受けた方に限ります。

#### 9 参加者が用意するもの

ハイキングの服装(長靴または軽登山靴と軍手が必要)・健康保険証・ハンマー・タガネ(コンクリート用)・雨具・筆記用具・ビニール袋(なるべく厚手のもの)・古新聞紙・油性のフェルトペン・リュックサック・昼食。ほかに, ルーペまたは虫メガネ・カメラ・国土地理院発行1/25,000地形図『夏油温泉』があれば便利です。

※瀬美温泉には食堂があります。

#### 10 参加申込方法

9月18日(木)から10月2日(木)までの間に, 次のいずれかの方法で申し込んで下さい。

##### ①往復葉書による方法

往復葉書に, 参加者全員の住所・氏名・年齢・連絡先の電話番号を明記して

020-0102 盛岡市上田田字松屋敷 34 岩手県立博物館学芸部地質観察会担当 あてに申し込んで下さい。受付の締切日当日の消印は有効です。

##### ②電子メールによる方法

参加者全員の住所・氏名・年齢・連絡先の電話番号を明記して, 次のアドレスに送信して下さい。

[g56semi@iwapmus.jp](mailto:g56semi@iwapmus.jp)

このアドレスは今回の地質観察会への申し込み専用です。受付終了日以降はアドレスが削除されますので使用はできません。

先着順に受付けますが、締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。折り返し、参加の可否や持ち物・集合場所等について連絡いたします。電話での申し込みは受付けません。参加が不可能になった場合には、早めに連絡下さい。

11 参加料

傷害保険料および資料代として、ひとり200円を当日受付でいただきます。

12 みどころ

北上市西部の瀬美温泉付近には、530万年～100万年ほど前（最後期中新世～前期更新世）の地層が分布しています。これらの地層を詳しくみてもと、海が徐々に進入し、逆に退いていったようす、近くにあった火山体が崩壊したり、噴火で軽石が落ちてきたり、火砕流に覆われたようすなどがわかります。この観察会では、地層を解読することから、郷土の自然のおいたちを探ります。

13 問い合わせ先 岩手県立博物館 〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34

電話 019-661-2831 ファックス 019-665-1214

14 岩手県交通の路線バスを利用される方へ

北上駅前から市役所・北上病院経由夏油温泉ゆきに乗車し、瀬美温泉で下車して下さい。

ゆき 北上駅前発 8:20 → 瀬美温泉着 8:57

かえり 瀬美温泉発 17:14 → 北上駅前着 17:51

15 広報文

(1) 150字

北上市の瀬美温泉付近の地層（530万年～100万年ほど前）を詳しくみてもと、海が徐々に進入し、逆に退いていったようす、近くにあった火山体が崩壊したり、噴火で軽石が落ちてきたり、火砕流に覆われたようすなどがわかります。この観察会では、地層を解読することから、郷土の自然のおいたちを探ります。

(2) 40字

瀬美温泉付近の地層を解読し、海の進入や火山の活動などのようすを探ります。

観察地付近の地形図（国土地理院発行 1/25,000 地形図『夏油温泉』を一部改変して使用）

